



リユースびん、ピッキング袋、カタログ 配達時に回収しています！

グリーンシステムについて学びました

7月19日(金) 名古屋センター

環境委員 樋口 久子

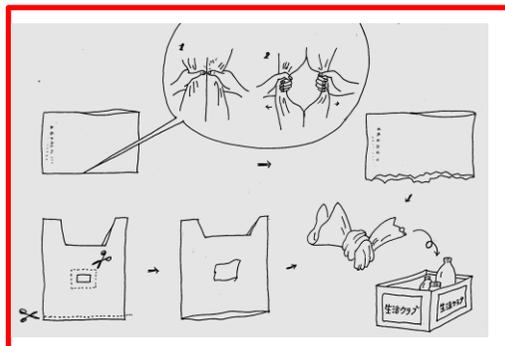
みなさん、グリーンシステムって知っていますか？びんを洗って返す、ピッキング袋をまとめて返す、牛乳キャップを捨てずに返す、みなさんが当たり前のようにしているこの行為のことです。実はこれ、環境省から表彰されるくらい(「環境省 グッドライフアワード」で検索してみてください) すばらしい、生活クラブ独自のシステムなんですよ。

何がすばらしいのか、それを学ぶ勉強会を委員からの声で開催しました。

グリーンシステムは、容器包装ごみを減らすため、温暖化の原因とされるCO2を削減するため、25年も前に始まりました。2017年は年間4,291トンものごみを減らし、東京ドームと同じくらいのCO2を削減しました。

そして満を持して始まったカタログ回収。自治体のリサイクルに出せば雑紙、生活クラブに出せば一つ上のグレードの、家庭紙という分類で、リサイクルの大きな流れの一部となって、何かに生まれ変わっていくのです。しかも、古紙回収業者に売却するので生活クラブの収入になります。だから捨ててはもったいない！回収率はまだ50%ほどですが、その金額、約60万円！いずれは、牛乳キャップやP袋のように、グリーンシステムの一環となって、カタログ原材料の一部にリサイクルされるよう、回収率を上げていきましょう。

このグリーンシステムが長く続いて成果をあげてきたのも、組合員みんなの力です。それでもまだびんやカタログを回収していることを知らない組合員もたくさんいます。この人達にいかに伝えていか、環境委員としての使命を感じた勉強会でした。



パタゴニア講演会「地球・環境・私たちが傷つけない生活を目指して」



10月9日(水) 豊田センター

環境委員 尾崎千佐美

篠 健司さん(パタゴニア日本支社・ブランド・レスポンスビリティ・マネージャー)をお招きし、パタゴニアの環境的・社会的責任の取り組みと生活クラブエナジーへの切り替えについて学びました。

みなさん！パタゴニアと言って 何を連想しますか？南アメリカ？アウトドアメーカー？

パタゴニアは「生活クラブでんき」を選んだ(会社の直営店の電気を切り替えた)企業です。

私自身、ロゴは見たことある・・・アメリカのアウトドアの会社？？？という程度でした。

今回 篠さんの話を聞いて、「生活クラブでんき」を選ぶべくして選んでくれた会社であると、心底思いました。なぜなら、

パタゴニアは「故郷である地球を救うため」にビジネスを営んでおり、パタゴニアの製品は1着で、「多用」に使える・20年前に買ったものでも古く感じさせない「非陳腐化」そして「耐久」「修理可能」「リサイクル素材が入っている」など全てにおいて地球・環境を傷つけない理念にのっとっているからです。そして2025年までに事業全体にわたってカーボンニュートラルにするとしているところも、わたしたち生活クラブのエネルギー原則にパタゴニアの考えがぴったり合っています。

ここまで聞くと、私たちが日々 行っている、当たりの仕組み(消費材の調味料等の瓶の共有化と再利用・袋のリサイクル・カタログのリサイクル・注文用紙のロールペーパー化・牛乳キャップの通い袋化や音羽米の生産地のあぜ道で作った生活クラブでんき、どれをとっても生活クラブの自信ある、CO2削減行動。環境効率を向上させている行動であり、それらと共に生活クラブでんきを自信をもって進めていくかありません。

さて、こちらを読んでくださった皆さん、一日でも早く、環境生協である生活クラブの電気に、切り替えて行きましょう。あなたの一歩が地球のため、未来の子どもたちのためになるように、勇気をもって行動しましょう。

これが生活クラブの電気の約束=「エネルギー7原則」です。

- ① 省エネルギーを柱とします。
- ② 原発のない社会、CO2を減らせる社会をつくります。
- ③ 地域への貢献と自然環境に留意した発電事業をすすめます。
- ④ 電気の仕組みや送配電のしくみを明らかにします。
- ⑤生活クラブの提携生産地との連携を深め、エネルギーの自給率を高めます。
- ⑥ 再生エネルギーによる電気を積極的に共同購入します。
- ⑦生産から廃棄までトータルに責任を持ちます。

おそうじも石けんで せっけんレッスンで学びました

2019年9月6日 名古屋センター

環境委員 水口和美

「ワーカーズ講師の会リシェ」の柘植千賀子さんをお迎えして、「せっけんレッスン」を開催しました。今回は「お掃除もせっけんで」というテーマで、前半は洗剤についての知識、汚れを落とす原理の説明、後半はキッチンで実際に換気扇カバー、キッチン排水溝、コンロの五徳、やかんなどをお掃除しました。内容の一部をご紹介します。

●洗剤の種類が多くて、何をどう選んだらよいかわからない。。

無添加○○○や自然派、オーガニック、植物由来の成分使用などという商品名や宣伝文句をつけている洗濯用洗剤が増えています、実際は一般的な合成洗剤なのだけれど、漂白剤、蛍光増白剤、着色料を無添加という意味で無添加をアピールしています。

○○○せっけん、という商品名でせっけんを主成分にしているのに蛍光増白剤を添加している洗濯石けんもあります。

●見分け方を知ろう！

表示欄を見て「品名」が《洗濯用石けん》、《台所用石けん》であるもの、「成分」が《純石けん分》または《石ケン素地》と表示してあるものを探してみてください。

L A S（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸）や**PEG** - ○○などという人体に有害な物質が成分に記載されていたら要注意！

合成洗剤の主成分である合成界面活性剤、そして添加物は危険なものが多いです。石けんは安全、環境にもやさしいです。

●石けんが使いこなせない悩み。。

石けんが汚れを落とす時に一番重要なことは、泡立てることです。

生活クラブの洗剤の代表的な使い方を一部ご紹介します。

固型せっけんでは体や手を洗い、キッチン用の洗剤としてお鍋やお皿を洗うのもオススメです。

洗濯用の粒状せっけんでは衣類を洗い、家の中のお掃除にも使えます。

台所、お風呂、トイレ、人間の体、頭髪、ペット、何もかも石けんでOK。石けんだけのシンプル生活始めてみませんか。

石けん使いこなしの基本やコツは環境委員会で作って配布している小冊子「せっけんNAVI」にまとめてあるのでぜひ参考にしてください。まだお持ちでない方はセンターまで連絡してください。

●せっけんレッスンの実演はキッチン周り

最後に参加者お楽しみの実践レッスン。汚れが落ちてピカピカになる様子を質疑応答を交えながら楽しく見学しました。

換気扇の頑固な油污れには炭酸塩のスプレーやお湯で前処理をした後、粒状石けんで洗いました。

シンクやコンロ周り、五徳などはセスキ炭酸ソーダのスプレーと、お湯、粒状せっけんで洗いました。焦げ付きにはクリームクレンザーも効果的です。カビには酸素系漂白剤も。

実際わたしも何度か学習会に参加するうちに、やっと石けん生活に至っています。石けん生活になると使用する洗剤の種類も少なくなり、家の中で使い分ける必要もなくなって快適です。

「ゲノム編集があなたの食卓へ」講演会

11月22日(金) 豊田センター

環境委員 神谷智恵美



伊籾智哉さんをお呼びしてゲノム編集食品の危険について学びました。

皆さんは、食品の裏の表示を見えていますか？

ゲノム編集は、遺伝子組み換えと同じく遺伝子操作であり、数々の危険が指摘されています。

米国では遺伝子組み換え食品の広がりに伴って、子どもにはアレルギー、アトピー、自閉症などの症状が大幅に増加し、科学者の研究からもその危険が指摘されるようになりました。食べ物をNON-GMOに替えると症状が改善されるケースが多いため、遺伝子組み換え反対の行動を起こす親たちが現れたそうです。

伊籾さんから学んだことを以下に抜粋します。

- ◆ゲノム編集食品を一言でいうと？ センサー付きの遺伝子破壊技術。研究室の中だけにとどめるべき技術で、遺伝子を操作した生命を環境中に放出させるべきではない。
 - ・基本は遺伝子組み換えと同じ遺伝子操作に他ならない。・「編集」ではない。遺伝子破壊するだけ。
 - ・安全とは言いがたい。アレルギーなどを作り出す危険あり。政府は安全を確認せずに解禁。
 - ・生産が拡がれば生態系に与える影響も。

- ◆遺伝子組み換えの本場である米国では、遺伝子組み換え食品の広がりと同時期から慢性疾患が増え始めました。危機感を持った親たちが立ち上がり、食品表示を求めるデモや農家に有機野菜を求める働きかけを続けた結果、有機市場が劇的に増加し、スーパーでは有機食品コーナーが増設されるなど大きな変動が起こっています。

参加者の感想から

- 日本も早く、NON-GMO、ゲノム食品でないものの商品にマークをつけてほしいです。私もできることをやっています。(とよ・おかエリア S.Eさん)
- 内容は衝撃的でショックを受けました。こんなことを簡単に許してしまう日本政府に憤りを感じました。来年度PTAになるので給食を変えていけたらと思います。(つばさエリア Y.Kさん)



環境委員会からのお知らせ

- 2/26(水) 映画「たねと私の旅」上映会 名古屋センター
 - ①1回目：10：30 上映開始
 - ②2回目：14：00 上映開始
- 3/29(日) GMナタネ自生調査

- 生活クラブでんきのお申し込みは

こちらから→

